

障がい児と親の就労支援の課題

～就学と親の就労と送迎問題～

板橋区福祉部障がいサービス課障がい児支援係

①就学と親の就労課題

●課題

(1)放課後の居場所問題

放課後等デイサービスやあいキッズを利用。

一方、放課後等デイサービスの空きがないこと、年齢制限、あいキッズの利用が難しいお子さんの居場所確保が困難。

(2) 一度離職すると求職するタイミングが難しい

児童発達支援に通所している時間で求職活動を行っているケースもあり。

※高等学校を卒業した後のことを不安視する保護者も多い。放課後等デイサービスでは夕方まで預かってくれていたが、福祉的就労(就労継続支援・生活介護)では16時ごろに帰宅する。自宅で一人過ごさせるのは不安だが、居場所がない。移動支援のヘルパー確保も難しい。離職やパートを余儀なくされる場合もあるのでは・・・

②送迎問題

- 特別支援学級に通学する場合、学校までの付き添いを求められる場合もある。
- 保護者が就労しており、学校の送迎に移動支援を利用したいが、送り出しや帰宅時の引き渡し時に保護者がいないと事業所として受け入れは難しい。結局保護者は時短勤務等の調整が必要であるが、就学児がいる保護者は時短制度の対象外になる場合もある。
- ひとり親の場合、送迎時の受け渡しや付き添いをすべて対応しなければならない。